

株式会社 TENKA ビル 太陽光発電事業(佐久協和太陽光発電所)

■事業概要

本事業は、長野県佐久市にある放棄耕作地に敷地面積 16,988 m²、発電容量 1,298kW の佐久協和太陽光発電所を建設し、太陽光エネルギーを利用して発電した電気を供給するものである。

項目	内容
利子補給対象	太陽光発電設備への融資
所在地	長野県佐久市協和
用途地域	—
発電容量	1,298kW
工事予定期間	平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月
供用開始予定	平成 30 年 3 月

■立地環境

事業予定地は、長野県佐久市の農業地域又は森林地域であり、現在の土地利用は事業予定の大部分が空地雑草群落

(放棄耕作地)で、一部がクリ・アカマツ等の樹林地、ヨシ群落等となっている。事業予定地の周囲は、畑・雑草地・アカマツ等の樹林であり、事業予定地の南西には、道を挟んだ隣接地に既設の太陽光発電施設がある。また、事業予定地に隣接して 1 軒の住宅があり、南側にも少し離れて複数の住宅が点在している。

■実施した環境影響調査

佐久市及び長野県の公表資料、環境省の第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査などの既存文献資料調査、並びに専門技術者による現地踏査を実施している。

■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

環境配慮計画書の概要版を事業予定地の掲示版に掲載した。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

- 供用中の配慮：パワーコンディショナーを周辺の住宅から離れた位置に設置する。
- 建設工事中の配慮：建設機械による影響対策として、建設機械の集中稼働の回避、強風時の作業抑制、低騒音型・低振動型建設機械の採用を行う。工事用車両の走行による影響対策として、車両の分散運行、制限速度遵守の指導等を行う。また、造成工事中の濁水対策として沈砂池の先行設置を行う。



環境配慮に関するコメント

太陽光パネルは低反射処理したものを採用する計画としていること、パワーコンディショナーなど騒音振動の発生源となる施設を周辺住宅から離れた位置に設置する計画としていることは評価できる。

一方、今後、地域住民等とは工事中も供用中も情報交流を行い、地域住民等からの意見を踏まえた環境配慮活動をお願いしたい。太陽光パネル洗浄水の洗浄にあたっては、環境への影響が生じないように、使用する洗浄水や洗浄水の排水方法に適切な配慮をお願いしたい。また、フォローアップについては、設計時及び工事中だけでなく、存在・供用時にも隣接住宅及び周辺の住民への環境影響、重要な動植物への影響がないか確認し、影響が確認された場合には必要な保全対策の実施をお願いしたい。さらに、太陽光発電設備が使用済みとなって排出される段階においては、その時点での最新の知見を踏まえて、リユース・リサイクル・適正処分に努めるようお願いしたい。